

まごころのおくりもの 7月分

金銭の部（一般分）

金光教大洲教会信徒会 様
大洲

（指定分）

《肱南地区社協へ》
(故)川田 智鶴子様 大洲

《肱北地区社協へ》
いよぎん中村会 様 中村

《平野地区社協へ》
佐々木 正浩様 大洲
星野 進様 平野町

《菅田地区社協へ》
竹岡 千鶴様 菅田町

《大川保健福祉協議会へ》
大下 孝孜様 蔵川

《柳沢地区社協へ》
亀本 耕三様 田処

《肱川地区社協へ》
中野 富士雄様 肱川町

《徳森徳寿会様へ》
尾崎 阿津子様 徳森

《要約筆記サークル
オリーブ大洲様へ》
NPO愛媛難聴者協会
大洲支部 様 菅田町

物品の部

《大洲市社会福祉協議会へ》
大洲婦道会 様 柚木
タオル 60枚

あたたかい善意をありがとうございました。感謝をこめて掲載させていただきます。



in長浜 **大人が学ぶ介護教室**

八月二十七日(木)、出海公民館において、出海女性学級介護教室が開催され、大洲市社協職員が講師として参加しました。

この介護教室は、出海地区で毎年開催されており、今年で三回目となります。今回は「食事」をテーマにした教室で、わきあいあいとした雰囲気のもと行われました。参加者の中には、実際に在宅で介護をされている方もおられました。介護は誰もが直面する可能性のある問題であると改めて感じられた様子でした。

介護教室は、知識と技術を習得すると同時に、相手を思いやる心や地域で助け合うことなどについて考える機会にもなっています。地域づくりにも通じる大切な事業ととらえ、今後も介護教室の輪が広がることを社協も応援しています。

俳句ひろば

苦勞した昔を語り小正月

笹田 幸子

評

一月十四、十五日を中心とした日は、松の内は忙しい女たちが十五日を年礼の始めとしました。女たちの気のおけない話して盛り上がったことでしょう。女正月、小正月といえます。

メロディーの流る岬道墓参り

谷村 サヨ子

評

岬への道に流れるメロディー。お墓参りとのこと、心安らかな一日だったことでしょう。

音もなく風のよりそふ花野かな

入山 マサ子

評

秋草の咲きみだれる野を花野といえます。その花野によりそふようにくる風。景の広がりのある句です。

山山の緑鳥声大らかに

上田 サチ子

評

今年の長かった梅雨。明ければ、山山の緑はかがやくばかり、鳥たちも大きな声で存在を明らかにします。

人形と痛きにさすり夏被

田淵 松子

評

陰暦六月晦日(新暦は一月遅れ)は夏越といひ、この日村々の社では茅の輪を作って人にこれを潜らせ祓います。また、人形を各人の体に触れ神社に納めたり、川に流したりします。作者も祈りを新たにされたことでしょう。

■このコーナーは、白岩チツ子先生に担当していただいております。一般・施設・学生さんからの応募、大歓迎です。みなさんからの便りお待ちしております。

お問い合わせは、
大洲市社会福祉協議会
地域福祉係まで